

# 令和8年度 事業計画

特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター

令和7年10月1日から令和8年9月30日まで

## 1. 事業の方向性

SDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」を、継続して目標に掲げた事業を継続して行う。

- 若手の支援人材の確保がますます難しく、活動を広げることが難しくなっている。  
「教育現場への情報支援」に注力し、継続可能な体制づくりを引き続き目指していく。
- 筑波技術大学、信州大学などの高等教育現場、さらには、支援者育成NPOなどと連携し、人材育成とスキルアップを目指す。  
さらに、現会員や寄付者のお力をお借りしながら、支援対象者の掘り起こし活動を継続して行う。
- 全国の小中高等学校を含め、一人でも多くの難聴の生徒の支援の実現に、引き続き、力を注いでいく。  
長野県内の公立高校に在籍する  
難聴学生の支援への参画を続け、支援者の全国ネットワークをより充実させることに取り組む。
- 難聴医療の進歩が著しく、支援対象者のニーズは、複雑化・多様化・深刻化しており、今までと異なるような、さまざまな課題とニーズが生まれている。その解決につなげるため、支援の質の改善、新たな支援方法の発見と改善に取り組むため、市民団体、企業、行政機関・教育機関・医療機関など、多様な組織と手を取り合い、継続した情報収集活動を行う方法を検討していく。
- 地域行政からの安定的な委託事業に関しては、より質の高いニーズに答えられるものにしていくため、人材の発掘や育成を継続していくとともに、就労機会提供の一翼を担っていく。

## 2. 事業実施に関する事項

- 特定非営利に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
パソコン要約筆記通訳者の派遣を行う事業	要約筆記委託事業 (要約筆記事業)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	事務所、 県施設、各市町村施設	20名	全国  300名	150
パソコン要約筆記通訳の人材発掘と育成事業	養成講座実施・勉強会の運営 (要約筆記事業)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	事務所、遠隔、大学 長野、塩尻、明石	6名	長野県を中心とする全国  100名	400
IT技術の福祉分野への活用を推進する事業	情報収集と提供 (事務作業)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	事務所等、WEB	4名	全国活動者・支援団体、企業等  100名	150
要約筆記・パソコン要約筆記についての相談と助言に関する事業	全国パソコン通訳者のネットワーク化 (事務作業)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	事務所等	4名	全国活動者・支援団体、企業等  200名	700
障害者・青少年の生きがい作りと人材育成事業	教育現場での授業サポート (要約筆記事業)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	筑波技術大学・信州大学 全国小中学校	20名	聴覚障害児童・学生  350名	1,600
	テープ起こしデータ入力 (受託事業)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	事務所等	12名	地域住民 市町村等  150名	2,000
	助成事業 (要約筆記事業)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	全国各地	20名	聴覚障害者・児童 全国活動者等  200名	200
その他、目的達成のために必要な事業	PR活動 (事務作業)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	事務所等	6名	依頼側、参加者 聴覚障害者、市民  7000名	100
	助成事業等 (当年なし)	R 7.10.1 ~R 8.9.30	事務所等	4名	依頼者、参加者、 聴覚障害者等  100名	0
一般管理費	事務作業等諸経費	R 7.10.1 ~R 8.9.30	事務所等	4名	  30名	1,200